

生き残るための教育とは

教育シンカ論

コロナから問う

〈2〉

これからは「めっちゃ」になります。そこで生
くちや変化する世界」 生き残るための教育は、

意外と本質的なものではないでしょうか。つまり、考える力と、考えたことを言葉にする力を身に付ける、そして、体験総量を増やすということです。どれだけ遊んでけん



高浜正伸さん。「教育とは、生きる力のバトンを渡し続けていくことです」

花まる学習会高浜正伸代表

当たり前疑う哲学の機会に

何にでも効率を求める
雰囲気は今はその時間
がありません。
シリコンバレーで大
成功した人の共通点は
高校、大学で「不良」だ
ったというところら
しい。周りの言うことが
絶対とは思わず、従わ
ない。学校に行かず街
でフラフラしながら、
自分のペースを取り戻
り、世界を自分の言葉
で語り直す。正解なき
人生で誰の笑顔を一番
大切にすることを考えた
のではないのでしょうか。
実際に食べていくに
は実力を付けなければ
いきません。しかし、
まずは自分の頭でこ
とん考え、周囲の期待
や常識を取り去った上
で「やっぱりこれがや
りたい」というビジョ
ンを明確に持つことが
大事です。コロナ禍は
「不良」でない人にも
「当たり前」を疑う哲
学の機会を与えてくれ
たのではないでしょ
うか。

かをしたか、障害のあ
る人や外国の人と出会
ったか。挫折も含め
た多様な豊かな経験が
足りない。大人になっ
た時、苦手に感じたり、
乗り越えられなかった
りしてしまふ。いつの
時代も同じです。
「より良い枠組みを
選ぶために良い成績を
取る」という従来の考
え方では、コロナ禍の
ような事態に対応でき
ない。知識を蓄えて正
しい答えを出すのは今
後、人工知能(AI)
がやってくれます。そ
うではなく、動く頭を
つくるのが大事。
そして、生き方は自
分で決めなくてはいけ
ません。自分の「好き」
を大事にし、それで飯
を食うために何が必要
かを考える。それには
「哲学」が必要ですが、

たかはま まさのぶ 19
59年熊本県生まれ。幼児か
ら中学生までの学習塾「花まる学習
会」代表。3浪して東京大に入学、

90年に同大学院修士課程修了。思考
力や野外体験を重視する独自の教育
理念や学習法で注目される。算数オ
リンピック作問委員も務める。